

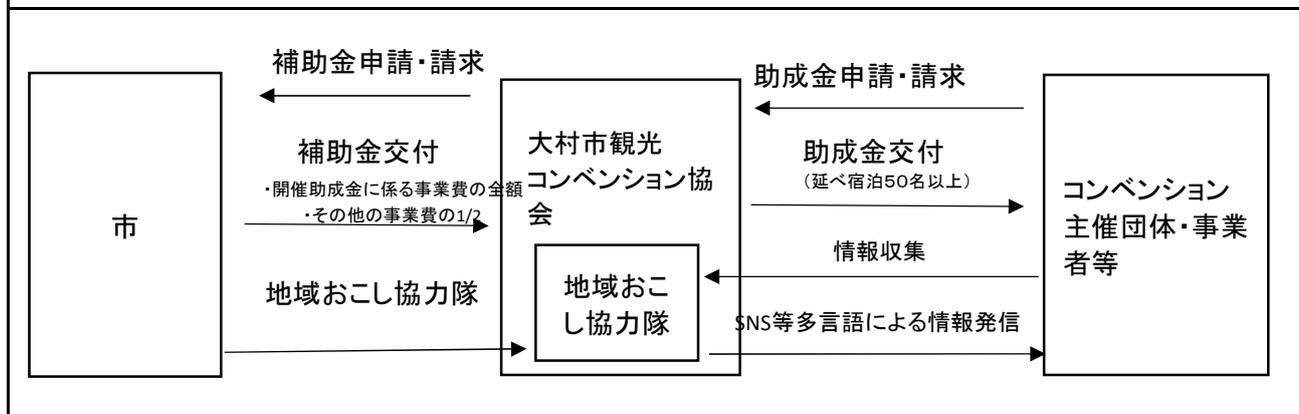
## 事業概要シート

施策	1601	観光交流のまちづくり	《 》の金額	現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計 ※補正予算要求時は今回の補正予算額を除く ※次年度予算要求時は次年度繰越額を除く	
事業名	コンベンション誘致事業	拡充	予算額	4,039 千円	
事業期間	平成11年度 ~		《 》	2,772 》千円	
根拠法令 要綱等	大村市観光コンベンション協会事業費補助金交付要綱 地域おこし協力隊推進要綱（総務省）		財源内訳	国庫支出金	1,127 千円
			県支出金	千円	
			地方債	千円	
			その他	1,675 千円	
			一般財源	1,237 千円	

### 【事業の目的・概要・対象】

(概要)  
大村市観光コンベンション協会が行うコンベンション誘致事業に対し、総事業費のうち、50名以上の宿泊を伴う場合に交付する開催助成金に係る事業費を全額、その他の事業費を1/2以内で補助を行う。  
また、大村市観光コンベンション協会が行うスポーツコンベンションなどの誘致活動の充実を図るため、関係団体等の情報収集やSNS等を活用した情報発信を行う地域おこし協力隊員を採用する。

(対象者)  
大村市観光コンベンション協会及びコンベンションを主催する団体



### 【背景】

○コンベンション施設や宿泊施設の有利性に乏しい本市において、他市と連携した誘致活動を行うため、平成29年4月に隣接する諫早市と同等の補助制度を整備し、県央地域として連携した誘致活動を行うこととしている。その中でも本市の有利性をPRし、できるだけ本市に誘致するための仕組みが必要と考える。

現在、観光コンベンション協会が中心となり、コンベンション主催団体に対して、助成金交付の他に下記のような支援サービスを行っている。

- ・大会・会議等の会場の紹介
- ・ホテル、飲食業、その他の関連業者の紹介
- ・弁当、土産品等の紹介・斡旋
- ・歓迎看板、生花の提供
- ・観光パンフレット、お出かけマップ、キャリーバッグ等の提供
- ・アフターコンベンションの紹介

担当課	産業振興部観光振興課	課長	上野 秀徳
担当者	田上 昂輝	問合せ先	0957-53-4111（内線241）

## 事業概要シート

### 【活動指標】

指標名			単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	コンベンション誘致活動件数	計画値	件	110	110	110	110	110
②	多言語による情報発信	計画値	件			12	24	24

### 【成果指標】

指標名			単位	R 3 (実績)	R 4 (計画)	R 5 (計画)	R 6 (計画)	R 7 (計画)
①	コンベンション誘致延べ宿泊者数	計画値	人	579	3200	3200	3400	3600
②		計画値						

### 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	合計
事業費	1,179	888	2,772	4,039	4,039	4,039	16,956
国庫支出金		444	1,332	1,127	1,127	1,127	5,157
県支出金							0
地方債							0
その他				1,675	1,675	1,675	5,025
一般財源	1,179	444	1,440	1,237	1,237	1,237	6,774
人件費	1,236	1,178	1,600	0	0	0	4,014
職員(人)	0.17人	0.16人	0.22人				0.55人
時間外勤務(h)		7h					7h
会計年度任用職員(人)	0.00人	0.00人	0.00人				0.00人
フルコスト	2,415	2,066	4,372	4,039	4,039	4,039	20,970

妥当性 (市の関与)	コンベンション誘致事業は、宿泊業や料飲業へ直接的経済効果が多大であり、観光関連産業にもたらす波及効果が大きいいため、市が関与することは妥当である。
有効性 (施策貢献度)	高速交通網に恵まれた本市の地理的優位性を生かし、大村市観光コンベンション協会を中核に官民一体となったコンベンション誘致による経済波及効果は大きく、施策貢献度は高い。
効率性 (コスト)	コンベンションの誘致件数の増加に伴い協会の事業費を圧迫するため、総事業費のうち開催助成金に対する補助率を継続して交付しているものであり、現状での減額見直しの余地はない。

1次評価	担当者意見のとおり
2次評価	1次評価のとおり